

## 目標達成計画

作成日: 令和 6 年 3 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難誘導と経路について職員全体で話し合い、それに沿った計画作成や訓練の実施(自然災害を含む)が必要。また備蓄品の整備と地域との協力体制の構築や、近隣在住の職員との具体的な連携システムの構築が課題。	①避難誘導と経路をまとめた計画作成 ②訓練の実施(自然災害を含む) ③備蓄品の整備 ④地域との協力体制の構築 ⑤被災時における職員の連携体制の構築	①避難計画の作成 ②避難訓練の実施 ③備蓄品の選定と購入 ④自治会等との協議 ⑤被災時における職員行動アンケートの実施	6ヶ月
2	2	コロナ禍で中止していたイベントの実施や自治会で企画されている地域のイベントにも参加出来ていない。	①施設内イベントの企画 ②地域のイベントへの出席・参加	①感染対策を十分に考慮したイベント企画立案 ②イベント会場までの移動について検討	3ヶ月
3	10	感染予防のため、利用者(入居者)と家族の面会は制限付きで行っているが、家族からは「居室で面会させて欲しい」という要望が多数寄せられている。コロナ感染症の5類移行を機に面会の制限を緩和が課題。	①利用者(入居者)と家族等との面会制限の緩和	①利用者(入居者)と家族等との面会制限の緩和に向けた	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。